

世界遺産の原爆ドームを有し、近くには厳島神社もある中国四国地方最大の都市広島市。コロナ前は年間1000万人もの観光客が訪れたという。当市は、現在「国際平和文化都市」の実現に向けて、様々な施策を進めている。

その1つが、JR広島駅周辺地区の大規模な再開発だ。2016年には新幹線口にペDESTリアンデッキと

広場が誕生。続いて駅の南北を貫く、明るくて広い自由通路も完成。駅周辺では、新幹線口に隣接した「二葉の里」地区の区画整理や広島駅南口の再開発等、大型ビルが続々と建設されている。現在も駅ビル建て替えや南口広場の整備などが進行中。将来は駅ビル2階に広島電鉄の路面電車が乗り入れる予定で、広島の玄関口は大きく変貌を遂げつつある。

### ○ビジネスとにぎわい拠点を再生

新たなまちづくりが進む広島で、これから注目を集めそうなのが、広島

わる予定だ。まさしく広島都市課題を一気に解決する再開発となっているのだ。

### ○さらなる広島の進化を促進

地権者には朝日新聞社や朝日ビルディング、中国電力ネットワークのほか、広島市や広島商工会議所も名を連ねる。

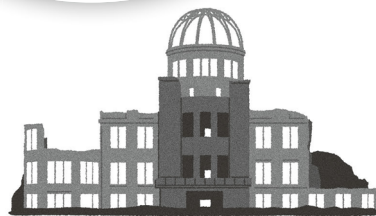
その調整役としてコーディネーターを務めるのがUR都市機構だ。担当するUR広島都心部再生課長の太田 亘は、新潟県糸魚川市や福島県双葉町などで、長く復興事業に携わってきた経験をもつ。

「復興事業は被災者の方々の生活支援というゴールが決まっているのに対し、今回のような再開発は、地権者の皆さんの思いがそれぞれ異なります。そうした気持ちを汲み取り、綿密に合意形成を行いながら、行司役として慎重かつ大胆に、また予定通りに事業を進めていくのが我々の役目です。現在まちの更新が進む広島



## 「国際平和文化都市」の未来を担う官民連携のプロジェクトが始動

広島県広島市 <sup>もとまち</sup>基町相生通地区 第一種市街地再開発事業  
2021年●令和3年～



阿部民子 text by Tamiko Abe

Illustration by Shigeyuki Sakata

ビジネス・商業・文化の拠点である「紙屋町・八丁堀地区」の再開発だ。中でも、広島が目抜き通りである相生通りに面する市営基町駐車場周辺の「基町相生通地区」では、未来の広島活性化を担う官民連携のリーディングプロジェクトが動き始めている。

広島市都市整備局都市機能調整部市街地再開発担当課長の小倉宏彦さんが、事業の概要を説明する。「紙屋町・八丁堀地区は、松井市長が広島都心の「西の核」と位置づける重要地区です。この地区は原爆の爆心に近いために壊滅的な被害を受けて昭和30年代に復興区画整理を実施。そこから高度成長期の昭和40年代にかけて数多くのビルが建ちました。そのため

で、我々の再開発の知見がお役に立てばうれしいですね」

広島市の小倉課長も「権利を有しない中立の立場であるURさんに入っていたことで、事業もスムーズに進む。全国での再開発の実績もあるので信頼している」とエールを送る。

事業の本格稼働は、今年の10月以降。完成時期は、高層棟と変電所棟が5年後の2027年度、市営駐輪場棟が2029年度を予定している。

現在は、一帯が建て替え期を迎えています。その中でも、今回のプロジェクトは先陣を切ってスタートするもので、まさにこの地区の再開発、ひいては広島市の更なる発展をけん引する役割を担っています」

計画では、広島初のラグジュアリーホテルや高規格オフィス、広島商工会議所や店舗を擁する高さ約160m、地上31階地下1階建ての高層棟、5階建ての変電所棟と地上5階地下1階建ての市営駐輪場棟の3つの建物を建設。業務機能の高度化やにぎわいと交流の促進、観光・文化・情報発信機能の充実と強化を目指している。

さらにもう1つ、開発の大きな狙いが「景観の向上」だ。広島市は、平和大通り、そして平和記念公園にある慰霊碑から原爆ドームを望む眺めをとっても大切にしている。毎年8月6日に行われる広島平和記念式典でのテレビ中継でも、必ず映る光景だ。そこで長らく課題となっていたのが、原爆ドームの後ろに映り込む、広島商工会議所のビルだった。

今回の事業では、広島商工会議所が新ビルに移転することで古いビルを解体、跡地は市民の憩いの場に生まれ変

「新しいビルは、市民の皆さんが憩えるように、沿道沿いにオープンスペースを設けます。広島市はコンパクトで、路面電車も残るすばらしいまち。今後はそのよさを生かし、ウォークアブルなまちづくりを目指す市民団体の皆さんと市とのつなぎ役を務めるなど、広島市全体のにぎわいづくりのお手伝いもしていきたい」と太田は話す。

取材後、平和記念公園を訪れた。原爆ドームや慰霊碑には多くの修学旅行生や社会科学見学の子どもたちが集い、原爆の子の像前では、美しい合唱を捧げる学生たちの姿に心を打たれた。

広島市ではサンフレッチェ広島のホームグラウンドとなるサッカースタジアムのほか旧広島市民球場跡地、広島城三の丸のにぎわい施設の整備など、次々と事業が進行している。住む人が暮らしやすく、訪れる人が憩えるまちに。尊い歴史遺産を抱きながら、国際平和文化都市広島の進化は、これからさらに速度を増していきそうだ。



広島初のラグジュアリーホテルや高規格オフィス、広島商工会議所や店舗を擁する高さ約160m、地上31階建ての高層棟が建つ。